

令和7年度のはじまりにあたって

～「なると うずっ子 学力向上パッケージ」をもとに、未来へはばたく子どもの育成をめざして～

新年度が幕を開けました。令和7年度におきましても、本市教育の充実と魅力の向上に向けて、教育委員の皆さま、教育委員会事務局職員とともにチーム市教委で力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度末に、徳島県教育委員会より高校入試制度に関する、新たな方針が示されました。それによりますと、今の中学3年生が受験する2026年度入試から別の学区へ進学できる割合を2%引き上げ、その結果を受けて検討した新たな割合を翌年度に適用、こうして段階的に割合を引き上げ、現在の小学6年生が受験する2029年度入試から学区制を撤廃するということです。

長年にわたる、本市の念願でありました学区制の廃止が実現し、高校入試の公平性が確保されることは、誠に喜ばしい限りです。本市の子どもたちには、高校入試を見据えてしっかりと学力を身に付け、自分の力で将来への道を切り拓いてほしいと願っています。

鳴門市教育委員会といたしましても、「なると うずっ子 学力向上パッケージ」のさらなる充実を図り、学力向上に取り組む本市の子どもたちを支援していきたいと考えています。その事業について、簡単に説明します。

①【継続】コグトレ(コグニティブトレーニング 認知機能強化トレーニング)

- ・対象 就学前教育・保育施設の5歳児、小学校低学年児童及び特別支援学級在籍児童
- ・認知機能の5つの構成要素(記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断)をトレーニングし、学習の土台を固めます。

②【継続】なると学力調査

- ・対象 市内小・中学校 小学4年生～中学3年生
- ・従来の学力調査では把握できない「児童生徒一人ひとりの学力がどれだけ伸びているのか」を把握できる調査であり、非認知能力や学習方略の視点も加えた子どもたちの成長が見える化できる調査です。

③【継続】AIドリル

- ・対象 市内小・中学校 小学1年生～中学3年生
- ・個別最適な学び(個に応じた指導)の充実・推進を図り、学習意欲の向上や基礎学力の定着、学習習慣の定着に取り組めます。

④【継続】オンライン英会話

- ・対象 市内中学校 中学2年生
- ・オンライン上で、外国人講師と1対1の英会話学習を行い、生きた英語力を習得し、世界にはばたくグローバル人材の育成をめざします。

⑤【継続】英検受験料全額補助

- ・対象 市内中学校 全学年の生徒(中学3年生は原則全員受験)
- ・年間3回実施している英検の受験料を全額補助し、確かな英語力の向上や資格の取得率の向上をめざします。

⑥【継続】中学生国内留学体験

- ・対象 市内中学校 英検3級以上を取得している生徒(中学3年生を優先、選考審査あり)
- ・国内でありながら海外留学の疑似体験が味わえる施設での生活を通して、英語の活用力を身に付けるとともに、英語学習へのさらなる動機づけを行います。

⑦【継続・拡充】鳴門理数塾

- ・対象 市内中学校 全学年の生徒(希望者)
- ・鳴門教育大学と連携協力し、定期的(月1回程度)に理数分野に特化した講座を設け、理数学習への動機づけを高めるとともに、楽しみながら理数学習に取り組むことをめざします。
- ・今年度より、理数塾参加者に数検受験を助成し、さらなるレベルアップを図ります。

⑧【新規】高校生英検全額補助

- ・対象 市内在住で市内の高校(鳴門高校・鳴門渦潮高校)に通学している高校生
- ・英検準2級以上を受験する際、受験料を全額補助して英検資格取得を促進し、英語学習に対する機運醸成、地元高校の特色化、魅力化を図ります。

⑨【新規】フリースクール補助

- ・対象 市内小中学校に在籍し、長期欠席傾向にある児童生徒で、学校長が出席扱いを認めたフリースクール等を利用している児童生徒の保護者
- ・不登校児童生徒の多様な居場所を確保し、社会的自立に向けた支援を推進します。
- ・保護者の方がフリースクール等に直接支払った授業料の半額(上限あり)を補助します。

⑩【新規】学力向上推進アドバイザー

- ・経験豊富な退職教職員を、市内小学校にアドバイザーとして配置します。
- ・若手教職員を中心に指導・助言を行い、教育活動の充実と学力向上を図ります。

以上、子どもたちの学力向上支援策である「なると うずっ子 学力向上パッケージ」の事業内容について述べてまいりましたが、この事業は、高校入試を見据えただけのものではございません。

子どもたちが、自分の将来に夢や希望を持ち、自己実現を果たすためには、学力は欠かせないものだと考えます。学力は、文字通り「学ぶ力」であり、人が人らしく生きるために必要な力です。

教育委員会といたしましては、将来にわたって生き抜く力の基となる、基礎的な学力を育成すべく、学校と連携しながら、事業を推進してまいります。

また、社会教育の分野におきましても、学校教育で培った生きる力を継続・発展させるべく、生きがいにつながる多様な学びの創出等、生涯学習社会や共生社会の実現に向けて、人生100年時代の生涯にわたる学びを支える学習環境の整備に取り組んでまいります。

さらに、昨年度末に、鳴門教育大学と鳴門市、鳴門市教育委員会の三者による新たな連携協定を締結いたしました。これは、教育・保育分野を中心に、文化振興やまちづくり等の多様な分野において、地域社会の持続的な発展に寄与する新たな魅力や価値等を共に創り上げていくことをめざすものであり、鳴門教育大学との連携協定が新たなステージへと移行したことを意味するものです。

また、今年度より鳴門高校における教員養成講座(Educationプログラム)がスタートします。鳴門市では、新たに教員養成講座を受講される方に対する奨学金制度を設け「将来は教員になりたい」という生徒の皆さんの夢を後押しすることとしています。本市では、地元出身の教員が少ないという現状があり、鳴門高校で開設される教員養成講座(Educationプログラム)が、その現状を打開してくれるきっかけとなるのではと、大いに期待しているところです。そして、先に述べた「なるとうずっ子 学力向上パッケージ」は、鳴門で生まれ、鳴門で育ち、地元で教員をめざす子どもたちの夢をつなぐ架け橋にもなりうるものです。

以上のようなことを念頭に置きながら、令和7年度も鳴門の子どもたちの幸せを願い、チーム市教委で一丸となって取り組んでまいります。今後とも、保護者・市民の皆さまの本市教育へのご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年4月

鳴門市教育委員会教育長 阿部孝弘